

2023年9月27日

各 位

中道リース株式会社

## シンジケーション方式サステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達について

中道リース株式会社（代表取締役社長：関崇博、以下「中道リース」という。）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：地下誠二、以下「DBJ」という。）及び本ローン概要に貸付人として記載の金融機関とシンジケーション方式サステナビリティ・リンク・ローン（以下、SLL という。）の融資契約を締結し、本日付で資金調達を実施しました。

SLL は、「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（以下「SLLP」という。）及び「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」（以下、「環境省ガイドライン」という。）に基づき、借入人のサステナビリティ経営高度化に資する適切なキー・パフォーマンス・インディケーター（以下「KPI」という。）とサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPT」という。）を設定し、SPT の達成状況と融資条件を連動させるインセンティブを付けることで、借入人及び社会の持続可能な成長を企図する融資メニューです。

中道リースは、「中道リース Vision2030 地域・社会に元気と価値ある変化を届けます～あなたと目指すサステナビリティ～」からバックキャストした重要課題（マテリアリティ）として、「脱炭素・省エネの推進」・「持続可能な地域への貢献」等を掲げており、様々な取組を実施しております。

本件では、当該マテリアリティに対応する非財務 KPI として、「芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数」を選定し、SPT を設定しました。

### ■芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラム

芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムとは、「2050 年までに温室効果ガス又は二酸化炭素の排出実質ゼロ」を目指すゼロカーボンシティ施策を後押しする目的で芙蓉リースグループが設立した寄付金付き優遇ファイナンスプログラム。

KPI 芙蓉ゼロカーボンシティ・サポートプログラムの適用契約社数

SPT 2023 年度 30 社、次年度以降は前年度目標の 10 社増とすること

なお、本件に関する SLLP、環境省ガイドラインへの適合性については、株式会社格付投資情報センター（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎宏）の第三者意見を取得しております。

<本ローン概要>

組成金額 : 61 億円

契約締結日 : 2023 年 9 月 25 日

実行日 : 2023 年 9 月 27 日

満期日 : 2028 年 9 月 29 日

アレンジャー : DBJ

貸付人 : DBJ、池田泉州銀行、岩手銀行、SBI 新生銀行、大垣共立銀行、神奈川県信用農業協同組合連合会、きらやか銀行、京葉銀行、埼玉県信用農業協同組合連合会、十八親和銀行、荘内銀行、東京都信用農業協同組合連合会、南都銀行、東日本銀行、百十四銀行、福岡銀行、北洋銀行、山形銀行（五十音順）

以上

【お問い合わせ先】

中道リース株式会社 財務部 下村

TEL 011-280-2266